



2022年（令和4年）
7月号（No. 926）

公益社団法人
日本山岳会
The Japanese Alpine Club

定価 1部 150円

会員の会報購読料は年会費に含まれています

URL ● <http://www.jac.or.jp>
e-mail ● jac-room@jac.or.jp

令和4年度通常総会ハイブリットで開催 5つの事業計画基本方針を発表

6月18日、日本山岳会令和4年度通常総会が東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催された。今年度も新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、会場出席者数を制限し、総会の模様はオンラインでも配信した。「令和3年度事業報告」「令和3年度決算報告」が審議され、いずれも原案どおり可決、承認された。

令和4年度通常総会は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、一昨年の令和2年度から連続3年間にわたり会場とオンライン配信によるハイブリットで行なわれ、総会後の懇談会は中止となった。

会場は、全役員17名のほか、創立120周年記念事業委員会から2名、そのほか会場出席を希望した会員3名、中継やそのほかの作

業を行なうために総務委員会、デジタルメディア委員会から7名、合計29名が出席した（うち準会員1名が含まれるため、議決権行使は28名）。オンラインでの視聴は約30名であった。

■古野淳会長の挨拶

総会冒頭に、古野淳会長から挨拶があった。

最初に、本格的な登山活動を再

目次

令和4年度通常総会ハイブリットで開催 5つの事業計画基本方針を発表 ……	1
「山岳気象セミナー」と 「山の天気ライブ授業」を開講 ……	5
200余名が集い、第76回ウェストン祭を開催 ……	6
不定期連載■最新海外山岳会事情① ……	8
連載■ご当地アルプス登山案内	
⑬都留アルプス ……	9
⑭沼津アルプス ……	10
東西南北 ……	12
活動報告 科学委員会 ……	13
図書紹介 ……	14
新入会員 ……	16
図書受入報告 ……	16
会務報告 ……	17
ルーム日誌 ……	18
会員異動 ……	18
INFORMATION ……	18
編集後記 ……	19

▶日本山岳会事務局（含図書室）取扱時間
月・火・木 …… 10～20時
水・金 …… 13～20時
第2、第4土曜日 …… 閉室
第1、第3、第5土曜日 …… 10～18時



会議に臨む山本副会長、古野会長、坂井副会長（左から）

開した会員も増えてきただろうことと、ヒマラヤ登山も再開されたことに触れ、東海支部創立60周年記念登山隊の山田利行会員と谷剛士会員が、ネパールのカンチュンナツプ北西壁を初登攀したことを喜ばしいと語った。

会員減に伴い、入会金や年会費の引き下げ、準会員制度の見直しなどの意見もあるが、会員制度の変更は会運営の根幹に関わるため、議論を重ね、慎重に判断していきたい旨も話された。

また、デジタルメディア委員会の予算を大幅に増額した件について、サーバー管理、セキュリティの強化を主な理由としたうえで、ホームページやSNSを有効に活用をし、本会の対外的アピールにも力を入れてきたい、という点も強調した。

《審議事項》

■令和3年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認（第1号議案・第2号議案）

初めに長島康博・総務担当理事



全役員ほか29名が集まって開かれた総会会場の模様

総務担当常務理事より、同年度決算報告は南久松宏光・財務担当常務理事より説明があった。

【事業報告】

令和3年度の

事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け中止となった事業も多数あるが、その中でも令和2年度と比較すると、規模縮小や開催の形態を工夫するなど、ウイルス感染予防を施しながら

会や理事会、支部連絡会議など、ほとんどの会議をオンラインで行なうようになった。しかしながら、遠方や時間がないことが理由で欠席していた会員がオンラインゆえに出席できるというメリットもあり、全体的に見ると出席率が高まっている。

一堂に会して開催する年次晩餐会は中止としたが、その代わりに「晩餐会ウィーク」と称して、8日間にわたりオンラインにて講演や座談会などを行なった。テーマは山岳信仰、古道、ウィズ・コロナの登山、火山などであり、会員だけでなく会員外の方々にも視聴してもらえようにした。また、北海道、福島、四国、東九州支部が登壇した「支部だより」のコーナーもあった。

オンラインによる活動は充実したものの、中止や延期となった事業も少なくはなく、登山教室や講習会が開かれなかったことは、入会者の減少にもつながり、痛手となった。

本会の会員数は正会員4321名、準会員203名となり、昨年より約206名減少した。会員の高齢化による減少傾向も留まるこ

となく、入会者数を増やすこと、現会員に対し会に継続して所属するよう満足度を高め、退会者数を減らすことが最優先の重要課題である。

【決算報告】

【決算概況】

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症に対応して緊急事態宣言、およびまん延防止等重点措置が繰返し発令され、感染防止の観点から登山活動や大規模集会の自粛など、本会の活動は引続いて非常に厳しい制約を課された。事業活動が思いどおりに進められないなか、平成28年以来的赤字決算となった。

一般正味財産増減の部については、経常収益合計が6556万円で、対前年度比1921万円減少した。経常費用は7084万円となり、対前年度比618万円減少した。この結果、当期経常増減額および当期一般正味財産増減額は527万円の損失計上となった。前年度より1302万円の悪化となった。

指定正味財産増減の部には、寄附者による使途が指定されていた寄附金250万円を計上している。

より、総会出席者は27名、委任状提出者は451名、議決権行使書提出者は2112名、合計2590名となり、現在の会員数4354名の過半数を上回っているため、今年度の総会は有効に成立するという報告がされ、議案審議を開始した。

令和3年度事業報告は柏澄子・

本年度に発生した創立120周年記念事業に充てるための149万円を振り替えた結果、100万円の増加となった。

【収益の推移】

当年度における正会員数の純減は137名である。継続して会員増加に努めているが、入会者があつても退会者が多く、会員数減少に歯止めが掛からない。このため受け取り会費は4675万円となり、対前年度比96万円の減少となった。

事業収益は、前期も当期も行事のほとんどが中止されたことにより296万円と前期並みであった。寄附金については、指定正味財産増減の部に計上されているものを含め741万円となり、前年度の1935万円に対し大幅減となった。

【事業費および管理費の推移】

事業費と管理費については、総額で7084万円となり、対前年比で618万円の減少となっている。令和3年度もコロナ禍により各支部および各委員会とも事業実施に制約を受け、公益事業については事業の中止・縮小状態が継続している。

創立120周年記念事業についても、海外往来を含む事業については再度の延期を余儀なくされた。費目別では、昨年大きく減少した会議費や旅費交通費は本年も少ないままであった。

事業管理費および管理費（間接費）は、経費節減に努めた結果2190万円と、対前期比143万円の減少となった。

《報告事項》

■令和4年度事業計画・予算案

令和4年度は、公益社団法人に移行して11年目となる。また、令和7年度に迎える創立120周年まで残すところ4年となった。今年度は、次の5点を軸に事業計画を策定した。

【事業計画基本方針】

- (1) ウイズ・コロナの中で、十分な感染対策を講じながら、新たな展開を模索する。
- (2) 入会者数を増やすとともに、現会員の満足度を高め、退会者数を減らすことも重視し、会員数の維持を図る。
- (3) 支部活動の活発化を図る。創立120周年記念事業の1テーマである「全国山岳古道調査」もその

ツールの一つとしたい。

- (4) YOUTH CLUBや若手会員の活動活発化を図り、若い会員たちの活動を会全体に広めていきたい。

- (5) 創立120周年に向け、これまで実施してきた事業の継続、新規事業の始動、財源確保に努める。

■質疑応答

総会に先立ち、事前に会員から質問や要望、提案をいただいた。ここでは質問の概要のみを記すので、それぞれに対する回答はホームページを参照願いたい。

- ・大塚正数会員（15673）

事業計画に各委員会の共同作業により「安全登山ハンドブック」を作成するとあるが、会員にも配布してほしい。

- ・加藤真美会員（16472）

YOUTH CLUBの雪崩講習会とアイスクライミング講習会について、募集の公平性や意義が不明であり、

賛成できない。

YOUTH CLUBの決算内容が把握できず、賛成できない。デジタルメディア委員会への予算増額を要望する。

- ・佐々木民秀会員（5748）

登山道調査など国土地理院との連携事業について報告してほしい。会報や『山岳』のページ数を減らしても良いのでは。

- ・野口いづみ会員（12105）

東京新支部構想について、事業



総会の様子はオンラインで会員たちにも配信された

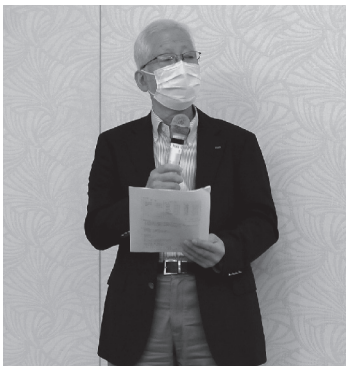
計画にて全く触れられていない。経過報告を望む。

支部事業委員会は支部所属者を対象としているが、全会員の約4分の1が無所属会員である。「活動活性化委員会」などとし、全会員を対象とした活動にするよう見直しが必要。

年ごとの準会員の入会者数、退会者数、通常会員になった人数を明示してほしい。会員増の効果が期待以下の場合、改善策や対案を示してほしい。

創立120周年記念事業募金 のお願い

総会終了後、創立120周年記念事業委員会委員長であり、グレート・ヒマラヤ・トラバース(GHT)PJリーダーである重廣恒夫会員と、ヒマラヤキャンプPJリ



GHTに対する支援を呼び掛けた重廣恒夫会員

ーダーの花谷泰広会員より、プロジェクトの説明と募金をお願いがあった。新型コロナウイルスのパンデミックによりヒマラヤ登山等の活動が中断していたが、両プロジェクトともこの秋の実施を予定している。

GHTは、2020年に続いてネパール東部のタプレジュンから再開し、エベレスト街道のルクラをゴールとする。ヒマラヤキャンプはペリ・ヒマール山群の未踏峰ブンギ(6524m)を目指す。しかしながら、コロナや世界情勢の影響を受け現地の物価高、円安が続き、資金の調達に苦渋している。そのため会員に募金をお願いしたいという内容。詳細は本紙4ページと、来月号に同封する趣旨書をご覧ください。

(報告) 南久松宏光、柏澄子



ヒマラヤキャンプの計画を発表した花谷泰広会員

令和4年度第11回登山教室指導者養成講習会案内

日本山岳会支部事業委員会

支部の登山教室・リーダー育成事業援助として、登山のすばらしさと安全な登山を指導する会員を育成し、支部山行の安全と充実を図り支部の一層の発展を目的する指導者養成講習会です。新型コロナウイルス感染症もワクチン接種その他の対策も進み、制限されている登山活動も必ず再開される日も近いことを期待し、その日のために「登山のためのトレーニング」と、登山中のトラブルに対応する「チームと自己を守るスキル」を学ぶ講習です。また、講師を囲む懇親会は、講師との質疑応答や参加各支部の皆さん方との交流の場として活用してください。

◆講義内容

【座学講座】最近の遭難事故と救助活動に学ぶ(仮題) 講師 長野県警察山岳遭難救助隊 / 「登山のための健康トレーニング」(仮題) 講師 齋藤繁(医療委員会委員、群馬大学付属病院院長)

【座学・実技講習】「チームと自己を守るスキル」(仮題) 講師 川瀬恵一(理事、遭難対策委員長)

◆参加資格 日本山岳会会員で、支部山行・登山教室のリーダーを目指す者。

◆募集人数 19名

◆締切日 令和4年9月2日(金) 定員になり次第締め切ります。

申込み方法 7月中旬、各支部長宛に送付する実施要項を確認のうえ添付の申込み書に記入して、メールで左記アドレスにお送りください。

◆申込み先 支部事業委員会・中村哲也まで jac-shibu@jac.or.jp
*新型コロナウイルス感染症の状況により変更、延期されることもあります。

- ◆主催 公益社団法人日本山岳会支部事業委員会
- ◆後援 公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団
- ◆日時 令和4年9月17日(土) 12時30分集合後、座学講義 / 18日(日) 8時~16時30分座学・実技講習
- ◆場所 安藤百福自然体験活動指導者養成センター(長野県小諸市大久保1100 JR小諸駅よりタクシー10分)
- ◆参加費 5000円(宿泊費・食

REPORT

「山岳気象セミナー」と 「山の天気ライブ授業」を開講

越後支部 渡辺 茂

越後支部は「日本山岳会創立120周年記念事業」の一環として、6月4日(土)～5日(日)に新潟市で猪熊隆之氏の「山岳気象セミナー(座学講習)」と「山の天気ライブ授業(フィールド講習)」を開講しました。

1日目は、新潟市黒崎市民会館1階ホールにおいて、一般参加者を含め90名の参加者でした。猪熊講師は新潟県出身で、県内の地理や山岳にも詳しく、親しみを感じ



1日目は座学で「山岳気象セミナー」を受講

られたこともあり、参加の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

登山ルートによる気象のリスクや気象遭難を防ぐための天気図の読み方と雲や風の確認について、新潟県の山は海が近く、海側からの風が吹いてくる風上側の山で天気が崩れるなど、遭難を防ぐための気象の変化を分かりやすく説明され、学ぶことができました。これまで山行前には天気予報で天候判断していましたが、天気図の読み方がいかに大事か、今さらながら認識することができました。

天気図の読み方は、基本的なポイントを覚えれば誰でも天気の詳細を立てることができる、と話されました。これからは一般的な天気予報は参考程度とし、天気図を読み、天気図の解説を習慣とし、今後の山行に活かしていきたいと思っています。講演後に多くの方からの質問もあり、丁寧に分かりやすく回答していただき、有意義な講習会になりました。

2日目の早朝は小雨もちらつき、上空は層積雲に覆われて薄暗く心配しましたが、集合の朝8時ごろから徐々に晴れ間が広がり、絶好の天候に恵まれました。会場は新潟市内の古津八幡山(標高53m)の頂上付近で、参加者20名限定のフィールド講習を行いました。古津八幡山は、古墳時代前期の直径60mの円墳です。

現在は史跡公園として広い敷地が芝生で整備され、展望が開けており、空を見上げられる視界良好な適地です。山頂からは眼下に越後平野の眺望が良く、雲の時間的な変化も確認できる、観天望氣に最適な場所でした。

数分ごとに雲が変化して、風向きの変化を観察することで天気がどのように移り変わっていくか予測できることを学びました。配布資料の「これだけは覚えておきたい! 危険な雲や十種雲形」については、実際に6種類の雲の動きが見られ、さらに詳しく観察することで、今後の天気がどのように変化するか予測できることを教わりました。

これまでは黒い雲を気にしながらの登山でしたが、風向きと雲の



2日目はフィールドに出て「山の天気ライブ授業」を受ける

動きを意識した行動を取りたいと思います。天気は風の流れや雲の動きにより変化することを忘れずに、上空を見上げ、雲を観察し、山の天気の情報や経験を身に付けたいと思います。また、講習中に46度ハロ(日量)や、めったに観ることができない「環水平アーク」も観察することができました。フィールド講習は20名限定としたため、参加できなかった方から「再度企画して欲しい」との強い要望がありました。

最後に、猪熊講師には故郷新潟に来ていただき、有意義な講習会を受講できたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

REPORT

200余名が集い、第76回ウェストン祭を開催

信濃支部 古幡開太郎

3年ぶりに響いた歌声

6月5日(日)、上高地・ウェストン広場に久しぶりに安曇小学校の子どもたちの歌声が響いた。新型コロナウイルス感染症の拡大により第74・75回の2回にわたって信濃支部役員のみにによる縮小開催を余儀なくされたため、3年ぶりの歌声だった。

かつては4年生の児童がウェストン師像に花を捧げたが、2年連続して児童が参加する式典がなかったため、今年は6年生の大城花凛さんと百瀬爽乃さんが献花を行った。今年なければ、ウェストン祭に参加することなく卒業する6年生への配慮だった。

今年6月4日(土)は、島々谷登山道が改修中のため、明神から徳本峠往復の記念山行となった。信濃支部は朝8時半、上高地バスターミナルで出発式を行なった。山行リーダーの信濃支部・横田明会員は、出発式で下見時の明神から徳本峠への白沢登山道は例年に比べ雪解けが早く、道も崩れている所

があるので気を付けるよう注意した。参加者は安曇小学校関係者36名、信濃支部員10名、一般参加者10名余であった。天候に恵まれ、徳本峠から美しい穂高連峰を眺めた後、全員無事、明神に下った。

翌5日(日)朝のウェストン広場には、信濃支部員31名、松本市長をはじめ上高地地域を管理する諸機関と協賛団体の代表者約20名、安曇小学校関係者46名と、登山者や観光客が梓川右岸に並び、総勢200余名がそろった。

午前10時、定刻どおりウェストン祭前祭は始まった。まずウェストン祭を主管する日本山岳会信濃支部・東英樹支部長が、ウェストン祭の始まりやウェストン師の経歴、日本での活動を紹介した後、お得意の山の歌「ぼうがつる賛歌(替え歌)」を歌い、祭りを温かく盛り上げた。

次いで安曇小学校児童により「ウェストンを讀める歌」が献じられた。この歌は、『日本アルプス登山と探検』の訳者・岡村精一が作

詞し、辻莊一(立教大学名誉教授・会員番号847)が作曲した曲で、第27回(1973年6月3日)のウェストン祭で歌われた曲である。その日は、平野修(立教大学)の指揮により、坂倉登喜子会員が率いるエーデルワイスクラブが歌っていたが、その後の経緯から安曇小学校児童たちに引き継がれ、現在に至っている。

献歌の後、亡くなった山仲間への黙祷を挟み、主催者の日本山岳会・古野淳会長が挨拶された。古野会長は挨拶の中で、我が国に近代登山の礎を築き、日本山岳会創立の立役者となったウェストン師の活動が、上高地ばかりでなく日本の自然保護に大きな原動力となったことを紹介し、その功績をたたえらるとともに、これまで継続してきたウェストン祭を支えた方々に感謝を述べられた。

次いで来賓を代表して、公務のため欠席された臥雲義尚・松本市長のメッセージを嵯峨宏一・副市長が代読された。市長は現在、関係機関と進めている「上高地の自然再生安全プロジェクト」に積極



ウェストン師に献花する安曇小学校の児童

的に取り組み、すばらしい上高地の自然を後世に残す役割を果たしたい、と宣言した。また今回、信濃支部会員である務台俊介・環境省副大臣も出席され、不通となっている島々谷・徳本峠登山道の改修を、関係機関と協力して進めるとの力強いご挨拶をいただいた。

かつてウェストン祭では、詩人尾崎喜八・第二代信濃支部長が式典当日の朝詠んだ詩を自ら朗読された。朗読は、第12回(1958年)「上高地の朝」から第25回(1971年)「捧げの詩」まで14回にわたった。その後、ウェストン祭では残された尾崎の詩から一つを選び、朗読することが慣わしとな



記念講演で山への想いを熱く語った平出和也さん

った。この日は、第20回(1966年)の朝詠まれた「第20回ウエストン祭」を、信濃支部小祝慶子会員が朗読した。この詩が詠まれた日の上高地は寒く、前日の徳本峠は雪交じりの雨だった、と記録にある。朗読の後、再び安曇小学校児童たちが「ビリーブ」を澄んだ声で合唱し、第1部の式典を閉じた。

記念講演は平出和也さん

第2部は記念講演で、かつて小梨平のビクターセンターで行なったこともあったが、現在は式典当日、ウエストン広場に集まった参加者の前で講演することになった。記念講演に先立ち、前日行

なわれた記念山行の報告を、山行リーダーの横田会員が行なった。

今回の記念講演は、アルパインクライマーで山岳カメラマンの平出和也さんに「信州の山に育てられ世界へ」と題し講演いただいた。平出さんは長野県諏訪郡富士見町の出身、少人数で荷物を軽量化してスピーディに登る、アルパインスタイルを得意とする登山家として知られている。数々の未踏峰・未踏ルートに挑戦して、登山界のアカデミー賞と言われる「ピオレドール賞(金のピッケル賞)」を3度受賞している。

講演では、自らの目標を「未踏峰の登頂」や「誰も登っていないルートの開拓に挑むこと」に据えていたが、そうなった経緯と、カラコルムのシスパールレ(7611m)を登山家としての自分の人生を懸けて登りたい山と決め、登頂を目標にした。2度挑戦し敗退した結果、自分は人間として成長しないと、あの頂には立てないと実感した。大切なパートナー・谷口けいさんと挑んだ3度目の挑戦で敗退したとき、シスパールレを振り返ることなく下山した。

その後、ほかの山に挑み遭難し

たこともあったが、そうした経験の中で改めてシスパールレが「自分の目標の山」から「登山家としての自分の物差し」に変わっていることに気付いた。そして、あの山に登頂して、かけがえのないパートナーであった谷口さんの写真を山頂に埋めることが使命と思い、4度目の挑戦で登頂することができた。

山頂に立ったときは意外と淡々としていて、下山後、燃え尽きてしまった。そんな経験の中で、かつては「自分にしかできない登山」をしないと競争心を持っていたが、シスパールレ登頂後は「自分だからこその登山」をしたいと思うようになった。そして、次の目標にラカポシ(7787m)を選び、登頂した。ラカポシは頂上に立つて初めて、かつて4度挑み、パートナーを失ったシスパールレが正面に見える山だった。ラカポシ登頂により3度目のピオレドールを受賞した。

平出さんは今年43歳になる。43歳は植村直己、長谷川恒男、星野道夫、谷口けいという偉大な冒険家・登山家が亡くなった年齢である。平出さんは、「冒険家たちが見

せることができなかった44歳の挑戦・冒険を見ることが、43歳でなくなった先輩たちに寄せる私の使命だ」と語った。

終わりに、新しい山に挑戦するとき、高ぶった気持ちを鎮めるため上高地に帰ることがある。私にとって大切な場所である、美しい上高地をいつまでも残していっていただきたい、と語り講演を終えた。

ウエストン祭は1947(昭和22)年6月14日、撤収され、お茶の水の日本山岳会ルームに保管されていたウエストン師のレリーフが、梓川畔の巖頭に復旧されたときが始まりである。爾来76年、1回も休むことなくウエストン祭は開催されてきた。このことが信濃支部の誇りであり、使命である。今後とも継続して開催できるよう、日本山岳会のご理解とご協力をお願いする次第である。

《第76回ウエストン祭記念品》記念手拭「流れと穂高」イラスト・デザイン・千葉潔(画家・信濃支部会員) 記念ブローチ「ダイコンソウ」制作・上兼力三(日本山岳会信濃支部ウエストン祭実行委員長)

不定期連載■最新海外山岳会事情①

英国山岳会の最新の動向

国際委員会 和田 薫

英国山岳会(The Alpine Club、以下AC)は、1857年に設立された世界最古の山岳会であり、入会資格のハードルも高い。正会員になるためには、難易度の高い登山経験を相当数積み、十分な登山技術が求められる。最近のACの動向を、名誉幹事GSherry McIver氏に聞いた。

——最近のACの会員数について教えてください。

現在、1456人が在籍し、過去6年間はこの水準を維持しています。過去12ヶ月間に57人が入会した一方、361人は30年以上在籍している古株のメンバーです。会員の平均年齢は約56歳で、統計はとっていませんが、下がってきているように感じます。

——年会費はどのくらいですか。年齢によって異なりますが、主に30〜64歳は61GBP(1GBPは約160円)、そのほか若者と高齢者に割引があります。7年前には、若い世代がより入りやすくなるよう、25歳未満向け20GBPの

制度も導入しました。年会費は、英国登山評議会に支払う加入料引き上げに伴い、2年前に値上げしましたが、負担増に伴う会員数の減少はありませんでした。

——会員の種類は？

アスパイラント・メンバーシップ(研修生制度)を1975年に導入しました。研修生は、5年以内に正会員になるために必要な経験を積みます。スイスのサース・フエーと英国国内で開催する登山講習に参加して、プロのガイドから登山技術を学びます。

さらに、2015年にはヨーロッパ・アルプスの冬山を経験していない登山者のために、UKアスパイラント(UK研修生)という、追加レベルの会員制度も導入しました。彼らは、前述の研修生と一緒に講習に参加することができ、実績はまだ少ないですが、着実に成功しており、この2年で、5人の研修生と1人のUK研修生が正会員に昇格しました。

なお、現在の会員は、正会員73

%、研修生22%、準会員2%、名誉会員1%です。

——研修生制度は実質上、ACの入会資格のハードルを下げることになるわけですが、既存会員から反対の声はなかったですか。

当時の既存会員の考えは定かではありませんが、一つ強調するならば、この新制度導入を総会で検討した際、同時に審議事項に上がつていた女性の入会の方が、さらに大きな論点になったことです。

——ACに女性が入会できるようになったのは、1975年以降なのですね。現在の会員の男女比はいかがですか。

現在、会員の10%が女性で、2022年1月以降に入会した会員に限れば、26%が女性でした。これは、昨年の夏に女性クライマーを対象にした「ミート」(注：登山講習会ではなく、参加者がともにクライミングを楽しむ)を開催したことが功を奏しました。

——JACほか多くの山岳会が会員数の減少・平均年齢の上昇に悩む一方、ACは会員数の維持に成功していますね。その秘訣は？

当会は、2020年1月以降、コロナ禍でクラブ活動が制限されて

いたにもかかわらず、108人の新入会員を受け入れました。58人の研修生、3人のUK研修生、38人の正会員ほかです。

会員を募集するために、いくつかの取り組みを実施しました。まず、ウェブサイトを新しくして、会員制度や正会員になるまでのステップを明確に記載しました。また、SNSの専門スタッフを雇用し、広報活動にも力を入れています。会員の登山成果のニュースだけでなく、ACが所有する歴史的な資料についても情報発信しています。YouTubeやClubCastを始めたところ、ACの知名度はコロナ禍でも大幅に向上しました。さらに、若い世代向けの「ミート」を積極的に開催したり、同じ地域や共通の関心を持つクライマーたちが交流しやすくなるように、WhatsAppのグループも導入しました。こうしたネットワーキングの成果として、既存会員が入会希望者を紹介する例も増えています。

また、ACクライミング基金は、海外遠征の資金を求めるクライマーを惹き付けています。

(注：データは2022年4月時点のもの)

(国際委員会委員長)

連載■で当地アルプス登山案内13 都留アルプス

山梨支部 長沢 洋



パノラマ展望台から冬の都留市街を俯瞰する

山梨県都留市の中心街は桂川の右岸に沿って開けた、東西に細長い土地にあつて、細長いのはむろん南北に山が迫っているからである。「都留アルプス」とは、市街地の南側に近接する山々を指し、その稜線に新たにハイキングコースを整備した際に名付けられた。市街地に通じる鉄道、富士急行線の駅で言えば、都留市駅から東桂駅までがその範囲で、途中の駅に下る道も多くあり、車に頼らず自由なコース取りができる。なお、標

高的に11月から翌年5月くらいまでが適期である。
私事ながら、都留市はもう半世紀近くも前、私が大学時代を過ごした街である。されば、このコースガイドは少々感傷的な紀行文風に書かせてもらおう。

【コースガイド】

降り立った都留市駅の駅舎や周辺は、古い記憶とさほど変わらなかった。私のいた当時、すでににぎわいは都留文科大学のある郊外に移り始めており、その流れが止まることはなかったのだろう。

辻々にある道標に導かれて谷村発電所へ着く。導水管に沿う細い舗装路からハイキングコースが始まる。管の両側は桜並木で、かつて電車の窓からその満開を見た覚えがある。導水管の最上部からわずかに入ると富士山展望台があり、初めて富士がそれらしい姿を現わす。いったいに都留の市街地からは富士の全容を望むことはできず、大学からも一切見えない。にもか

わらず、入学案内には富士山が大きく写っていて、少しだまされたような気がしたものである。

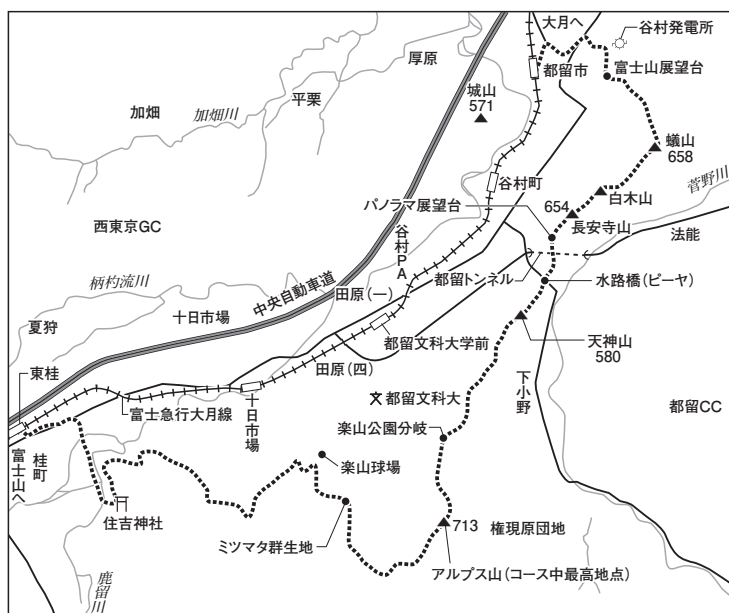
稜線は小刻みに上下し、小突起にも山名が付けられている。その中では一番

高い「長安寺山」の麓、すなわち

長安寺のそばに私の下宿はあった。徹夜で駄弁った友人たちと、夜明けを見ようと何度か登った

のは、だからこの山だと思うのだが、思い出すすがはまるでなかった。この山腹には、桂川を隔てた勝山城から美しく見えるように木を選んで植えてある、と聞いたことがある。たしかに春秋の色はすばらしかった。

わずかに下って「パノラマ展望台」に着く。眼下に通学路だった国道バイパスが大学方面へと一直線に延びている。前述のように、今



や都留市の商業の中心は、この道の行き着く先の大学周辺である。

鍛冶屋坂へと急に下ると「ピーヤ」を見る。「棧橋」の意の英語「pier」のことである。桂川流域の発電所は、明治から大正にかけて次々に完成した。都留アルプスの縦走とは、東桂で桂川から取られた水が谷村発電所に落ちるまでの、水路トンネルの上を歩くことにほかならない。その水が地形によつ

でトンネルから外に出るときには、橋を渡るわけだ。

アーチ状の橋げたを持つピーヤは、明治・大正の石造建築の例にもれず、何がしか異国情緒が漂う人影まばらで、デートをするにはいい所だと思っていた私には、ここに淡い恋心の思い出がある。ピーヤは変らないが、去りし面影はもはや幻に近い。緩く登り返して「天神山」に着く。

再び水路を見たのち緩く登ると、楽山公園への道を分ける。あたりは広く伐採された後、桜が植えられたという。楽山公園は以前からの桜の名所だから、いずれ一帯が桜に覆われるのだろう。



どことなく異国情緒が漂う水路橋(ピーヤ)

「アルプス山」とは、このコースでの最高点だから名付けられたのだろうが、尾根の一角にすぎない。ここから山腹の暗い植林帯に入り、ミツマタの群生地を過ぎると楽山球場へ着く。道はこれから登り返しとなるし、あまり楽しい山道でもない。もう下つてもよからう。

全コースを歩いたなら、住吉神社で里道に出る。鹿留川を渡るとすぐ、桂川からの取水路が鹿留川をまたいで山に吸い込まれていくのが見える。要するに、この水路の上を流れと逆方向に歩いてきたことになる。「行く川の流れ」を遡ったとは、なるほど私にとってはいい「落ち」である。そして、むろん「元の水にあらず」だったのは、言うまでもない。

【参考情報】 都留市観光協会のサイトから、万全な地図がダウンロードできる。https://tsuru-kankou.com/tsuru-alps/

【コースタイム】 都留市駅(10分) 谷村発電所(20分) 富士山展望所(1時間) パノラマ展望台(20分) 水路橋(ピーヤ)(50分) 楽山公園分岐(2時間30分) 楽山球場(1時間20分) 住吉神社(10分) 東桂駅 合計5時間40分

連載■で当地アルプス登山案内14 沼津アルプス

静岡県の東部、伊豆半島の付け根に位置し、駿河湾に面する沼津市に山城がある。北から順に香貫山、横山、徳倉山、志下山、小鷲頭山、鷲頭山、大平山の7山があり、南北どちらからもコース取り可能。地元の愛好会が登山道を整備し、「沼津アルプス」の呼称が定着した。

最高峰の鷲頭山でも標高は392mで、簡単そうだが、高低差が激しく、ハイキング感覚で全山縦走に挑戦するのはお勧めしない。ただ、ルート途中のエスケープが豊富なため、体調によりバス・タクシー等で撤退ということも可能。道中、駿河湾の眺望が良い箇所が多く、全行程は6時間半程度。天気が良ければ富士山も一望できる。適期は、涼しい10月から翌年4月。

【コースガイド】

ここでは大平山から始める「北行」コースを紹介する。JR沼津駅からバスに乗りし30分弱、多比バス停で下車。10mほど来た道を戻

静岡支部 山崎 洋

ると、出発点である「多比口峠登り口」の標識がある。民家を過ぎて少し歩くと未舗装の登山道になり、多比口峠まで登りが続く。

多比口峠は右手に大平山、左手に鷲頭山、正面にもう1つの下山路という分岐になっている。全山を縦走する場合には、大平山山頂までピストンする必要がある。なお、大平山から先にも「奥沼津アルプス」というコースがあり、日守山(大嵐山)と茶臼山を経て伊豆箱根鉄道・原木駅に到達する。



志下山付近から駿河湾と伊豆半島を望む



大平山山頂は見晴らしが悪いが、木陰が多く、休憩に適している。多比峠への下りは転倒に注意。分岐まで戻ってから、多比峠（多比口峠とは異なる）を経て鷲頭山を目指す。道中、当地のハイライトであると案内標識にある「ウバメガシの岩根尾」が現われ、岩を攀じ登ったりする箇所もある。

鷲頭山山頂は展望があり、富士山のほか愛鷹連峰、天城連山などが見られる。休憩用のベンチも設置されている。ここから小鷲頭山までの距離は遠くないが、せっかく標高を稼いだのに急な下りが続き、さらにまた急な登りが待って

いる。小鷲頭山付近には三位中将さんみちのへ平重衡しげひら（清盛の五男）の「終焉切腹之場」という表示がある。地元の伝説では、源氏の追手から逃れた重衡がここで切腹したと伝わるが、史実では京都、木津川で斬首された、とある。

小鷲頭山から先も急な下りが続き、ロープや岩場もあるため転倒に注意。道中には重衡が隠れ住んだ洞窟と伝わる中将岩などの見所があり、志下山に至る。海側を刈り払って見晴らしの良い箇所も多い。次の徳倉山まではこの山域の中では比較的平坦で、休憩に適した広場があるほか、千金岩という

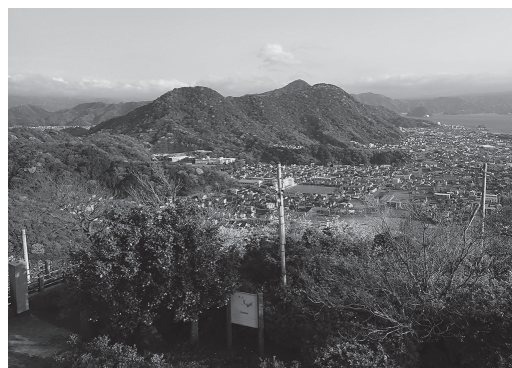
巨岩の近辺からの駿河湾の眺めが
良い。徳倉山山頂も眺望に優れた
広場になっている。

横山までの間に、コース中最も急な坂(階段)があり、鎖を使って下る。時間をかけ、転倒しないように足の置き場を慎重に探るのが良い。その後もアップダウンを繰り返すので、足の疲れや体力切れに注意。

横山は展望がなく、ほぼ通過するだけ。ここから八重坂峠までの下りは急で、ロープも張つてある。疲れもあり、最も転倒しやすいと思われるので注意が必要。八重坂峠にていったん車道に出て左折、横断し、最後の香貫山を目指す。公園として整備されている箇所が多く、後半には水道やトイレもある。山頂は見晴らしが悪いが、そこから展望台に移動すれば富士山や駿河湾、沼津市街を一望できる。特に冬季、16時ぐらいからここで美しい夕焼けを眺めるのが、大変お勧めできるハイライトである。

香貫山からは、黒瀬登山口に降り、バスで沼津駅に移動する。

【コースタイム】多比バス停(40分)
多比口峠(大平山往復25分) 多比口
峠(40分) 鷺頭山(25分) 小鷺頭山



香貫山から横山、徳倉山、鷲頭山を振り返る(手前から)

(30分) 志下山(50分) 徳倉山(1時間10分) 横山(1時間) 香貫山(40分) 黒瀬バス停

【交通アクセス】 県外からの場合
東海道新幹線三島駅にてＪＲ東海
道本線静岡駅方面に乗り換えた後
沼津駅南口下車。伊豆箱根バス乗
車後、多比バス停で下車。帰宅時
は、東海バス黒瀬バス停で乗車し、
沼津駅で下車。バスはＩＣカード
乗車券使用不可。

【参考文献・情報】 永野敏夫著
『静岡の山 日帰りコース158』
(羽衣出版) 沼津市による紹介ウ
ェブサイトは、 [https://www.city-](https://www.city-numazu.shizuoka.jp/hiking/alps/index.htm)
[numazu.shizuoka.jp/hiking/alps/](https://www.city-numazu.shizuoka.jp/hiking/alps/index.htm)
[index.htm](https://www.city-numazu.shizuoka.jp/hiking/alps/index.htm)

N — 東 西 南 北 — S

会員の皆様のご意見、エッセイ、俳句、短歌、詩などを掲載するページです。どしどしご投稿ください。（紙面に限りがありますので、1点につき1000字程度をお願いします）

銀座アルプス、新宿は遙かな墓碑——寺田寅彦の随筆と俳人の篠原梵そして福永耕二を結んで——

小原茂延

寺田寅彦の随筆の中に「銀座アルプス」なる一篇があつたのをかなり以前に読んだ覚えがある。最近調べてみると現在も岩波文庫で『寺田寅彦随筆集』第4巻が刷を重ねているのでありがたい。初版は中央公論社から昭和8（1933）年の刊行とある。そのほか、ネットの青空文庫などでも読めるようだ。寺田が言うには当時銀座に三越などのデパートやオフィスビルが建設されて、その林立する様は「銀座アルプス」と呼んでもおかしくはないと、自論を展開している。何しろ階段を登るごとに美しい人と陳列されている商品はお花畑であり、屋上すなわち頂上では高度

差により若干でも涼しいのは科学的に証明されること、とも書いている。

その随筆集を持つていないので、パソコンでウェブ検索をしてみたところ、なんとそのもののズバリの「銀座アルプス」なる角川ソフィア文庫本（令和2年）がヒットしたのには驚いた。巻末の編集付記によれば底本は、昭和26（1951）年に角川書店から刊行された『銀座アルプス』だとあるのだから、当方が承知していなかったことを思い知った次第である。その上、解説を角川源義氏が書いており、その間の事情などが確りと分かった。

ところで数年前に、この銀座アルプスの後、新宿副都心がそびえ立ったところ「新宿アルプス」の名を入れて俳句にしたものがあつたはずと懸命に検索したことがあつた。結論から言うと、これは小生の全くの勘違いで、いくら「新宿アルプ

ス」を探しても飲食店や待ち合わせ広場などしか出てこない。その上、句は篠原梵の作ではないかとまで迷い、図書館で3冊の全句集を借りて、つぶさに当たったものがないのが当然で徒労に終わった。

しかし調査の結果、篠原梵がかなり登山愛好家であつたことを知り、これは収穫であつた。子規からつながる虚子・碧梧桐・波郷らを生んだ愛媛の出身で、東大国文科卒後に中央公論社に奉職したが、戦中の1944年に退職して郷里愛媛に帰り、一時、教師をしていた。戦後に同社に復職して子会社の社長まで務めている。彼の第一句集は「皿」であり、皿とは故郷、松山近郊の皿ヶ嶺（1271m）である。代表句に「葉桜の中の無数の空さわぐ」がある。

さて、新宿アルプスは銀座アルプスを凌ぐ高峰？ は確かであり、最近、読売俳壇のコラムに俳人である筑紫磐井氏が書かれていた『新宿の墓碑』によって私の思い込みによる迷走は氷解した。水原秋桜子の「馬酔木」の当時編集長であつた福永耕二が新宿の高層ビル群を墓碑になぞらえた句があり、筑紫氏は福永耕二の忘れがたい句と

評している。「新宿ははるかなる墓碑鳥渡る」である。十数年前の私は、「新宿は墓碑」を、「新宿アルプス」と思い込んでいたのである。

新宿のアルプス踏みて四方の春

拙作

この稿を書いていた折に「四国支部報」をいただき、編集後記で今井編集長が「皿ヶ嶺」に触れられており、正に温故知新！ これは小島烏水翁のお導きかと因縁さえ感じた次第である。

（埼玉支部）

上高地の山々

広渡敬雄（沖）同人

古稀を迎え、脚が丈夫な内にと、上高地の山々をたどることにした。コロナ禍とは言え、河童橋付近は多くの観光客が記念写真を撮っていた。熊の出現で閉鎖中の小梨平キャンプ場を過ぎ梓川沿いに北上し、明神から徳本峠に着く。日本アルプスの生みの親・ウェストンが、ここからの穂高岳に感涙した絶景地である。その後、樹林帯の大滝山を経て蝶ヶ岳ヒュッテに着く。未明の満天の星のもとに起き、

活動報告

日本山岳会の
各委員会、同好会の
活動報告です。

東の雲海からの日の出を、登山者の万歳の中に見つめる。振り返ると、日本を代表する山岳展望の槍ヶ岳から奥穂高の稜線の山肌が、徐々に鮮やかな茜色に染まってゆき、その荘厳さに静かに見入る。「モルゲンロート」である。

さらに常念岳・大天井岳を過ぎ、表銀座コースに入り、喜作新道を西岳ヒュッテで泊まる。翌日、未明の中、東鎌尾根の霧の険路を確実にたどり、やっと息をついた槍ヶ岳直下のヒュッテ大槍で、人生二度目の御来迎(円虹)Ⅱブロッケン現象に遭遇する。太陽の反対側の霧に姿が投影され、丸い虹となり、その芯に自身の影が映り、阿弥陀来迎の姿とも言われる僥倖である。

槍ヶ岳の鎖を慎重に攀じ登り、生涯三度目の頂上で大展望を楽しむ。おそらく、もう来ることはな

いだろう。心身ともに満ち足りた中、上高地へ槍沢を下る。徐々に水量を増す梓川。

稜線のキレットには峰雲が湧き上がり、その白さがとりわけ印象的であった。

雲海の朱の一点を待みとす

襞深しモルゲンロートの槍穂高

夏霧迅し迅しキレット濡らしゆく

御来迎彼の世のわれに手を翳す

梓川の生み出す白や雲の峰

〈広渡会員が総合俳句誌『俳壇』7月号(本阿弥書店)の特集「夏・天文の季語に遊ぶ」に寄稿されたエッセイと句を転載させていただきました。 会報編集委員会

科学委員会

山のみずうみを知る

— 科学委員会主催・赤城山と奥日光探索山行 —

6月25日(土)、26日(日)の2日間、赤城山と奥日光の探索山行を実施した。参加者33名を乗せたバスは一路赤城山へ。まずは大沼湖畔の赤城神社跡で近藤講師より赤城山を巡る修験古道の説明を受ける。これから20名ほどの健脚組は地藏岳(1674m)山頂を目指す。一方ゆつくり組12名ほどはバスに乗り、小沼駐車場に向かい、八丁平から標高差180mほどの登山道を地藏岳に向かって登山開始。予定よ



地藏岳山頂での記念撮影

り30分ほど遅れたが、両組はめでたく山頂で合流した。

山頂で眼下に広がる大沼を眺め、その成因を中野講師より伺う。昼食後全員で八丁平に下る。途中小沼が見え、ここでも中野講師のお話を伺う。八丁平から赤城山スキ一場までは一部の方を除いてほぼ全員で古道を下る。待機していたバスで今日の宿泊場所、丸沼湖畔にたらずむ閑静な環湖荘には16時30分ごろに到着できた。心地よい温泉と食事で今日の疲れを癒し、翌日に備えて就寝。

翌26日も好天だった。8時30分に出発。途中湯ノ湖に立ち寄り、急傾斜の滑滝を形成して流下する湯滝を見学。中野講師よりでき立てほやほやの地質図が示され、これに基づいての湯滝の成因の新解釈を全員熱心に聞き入る。

バスは赤沼茶屋に駐車、ここから徒歩で小田代原を目指す。気持ちの安らぐカラマツやミズナラの樹林内では折々、石井講師の植物の話なども伺いながら1時間ほどで小田代原に到着。遅れた数名の方には、全体の行程管理上ここから西ノ湖入り口までハイブリッドバスに乗っていただくこととする。

そのほかの参加者はバス道を歩き、1時間ほどで西ノ湖入り口に到着。折よくハイブリッドバス組も合流して昼食をとる。

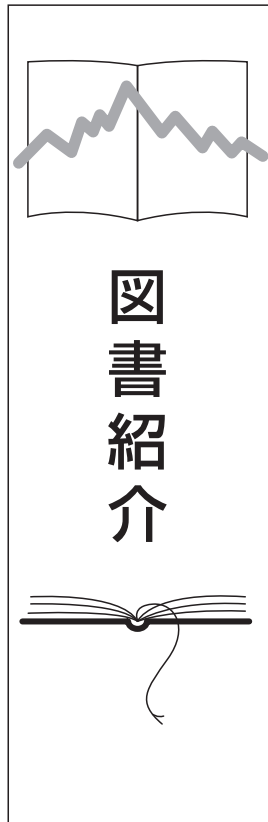
ミズナラやハルニレ、ヤチダモなどの保護林内を西ノ湖まで歩き、西ノ湖では福岡講師からこの湖がかつては中禅寺湖の一部であったとする説や、湖出口を流れる柳沢川との標高差によって湖に逆流することがあることなど、興味深い解説を伺う。また、近藤講師からも奥日光山岳地帯全域に広がる修験古道の話もあり、室町時代から開拓されていた山岳古道のお話にしばしば往時を偲んだ。

いったん西ノ湖入り口近くまで戻り、中禅寺湖畔の手ヶ浜でまだまだ咲き誇るクリンソウなども見学後、ハイブリッドバスで赤沼茶屋に戻る。待機していたバスに乗車、途中で道路脇の広場に駐車し、竜頭ノ滝の上部を福岡講師の成因解説も伺いながら見学。そののち一路、新宿を目指して帰路に着いた。

2日間にわたる探索山行を平均年齢74歳超のメンバーが事故もなく無事終了できたことに、まずは参加者の皆様および科学委員会メ

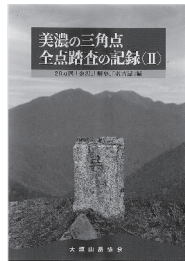
ンバーである各分野の専門家の講師の方々のご協力に感謝するとともに、何よりも2日間、好天をも

たらしてくれた自然の采配にも大いに感謝する2日間であった。
(科学委員会委員長・平野裕也)



堀義博編

美濃の三角点全点踏査の記録Ⅰ・Ⅱ



2021年1月/2022年1月
大垣山岳協会
B5判
I(230頁)Ⅱ(318頁)

大変な労作である。

大垣山岳協会の創立60周年記念事業として、美濃地方の三等までの三角点、707点全点を手分けして踏査した記録集で、延べ1998人の会員を動員した、汗の結晶である。2巻からなり、Ⅰ巻は20万分の1図「飯田」「豊橋」編、Ⅱ巻は同図「金沢」「岐阜」「名古屋」編となっている。

同協会は、本会の今西錦司元会長(元岐阜大学学長)との関係が深く、また、故高木泰夫元会長が『新日本山岳誌』(日本山岳会編)の編集委員長を務めており、これら先達の薫陶を受けてきた歴史を背景に、この記念企画が生まれたのであろう。

全国の一等三角点を巡り歩いたりする「三角点マニア」の登山者は多いが、同協会にもマニアが多く、「どうせならマニアに徹しよう。我々のホームグラウンドである美濃地方の三角点を、しらみつぶしに訪ねてみたかどうか」という声が上がった。たまたま創立60周年の時期に当たっていたこともあり記念事業として取り組むことになったものである。

奥美濃の山は登山道のない山がほとんどで、主に残雪期に歩かれることが多い。ただ、三角点が残雪の下に埋まっていたり調査にならないので、テントを背負い、沢を遡行し、背を越すチシマザサをこいで三角点を見付け出さなければならなかった。また、三角点は平野部にも多く、道路脇や堤防の肩、はては学校のグラウンド脇や校舎の屋上にも設置されていたという。3年半、このような難行苦行を重ねた成果が本書となつて結実した。

同会の堀義博会長は「はじめに」

寄附金および助成金などの受入報告(7月1日まで)

寄附者など	受入金額など (単位千円)	寄附の目的、その他
三井住友信託銀行	200	高尾の森づくりの会活動指定寄附
古野 淳 会員	30	ウェストン祭寄附金
石川 春 様	50	登山道等整備資金寄附金
佐野 忠則 会員	50	一般社団法人 山の日協議会への活動支援
尾上 昇 会員	100	一般社団法人 山の日協議会への活動支援
吉川 正幸 会員	50	一般社団法人 山の日協議会への活動支援
平井 拓雄 永年会員	20	上高地山岳研究所運営資金

で、「地図と磁石だけを頼りに見ず知らずの道の無い地域を歩く」という山登りの一番基礎となる能力を協会の皆さんはしっかりと身につけたと思います。そのための読図能力も飛躍的に向上しました。このことが三角点踏査が残した最大の財産です。」と綴っている。

三角点ごとに点名や山名、等級、標高、緯度・経度が示されており、踏査記とともに踏査ルート図と写真が添えられている。また、「三角点の基礎知識」「三角点四方山話」などの解説やコラムもあり、それぞれ巻末に「山名・点名索引」が付

けられており、充実している。本書の購入は、左記の大垣山岳協会のホームページから。
<https://ogakisangakukyokai.club/contact/>

(節田重節)

登山道法研究会編

これでいいのか登山道
現状と課題

2022年1月
山と溪谷社
新書判 256頁
1000円＋税

「登山道」は山を志す当会の会員であれば、だれしもお世話になっている道であるが、その定義は何か? と問われると、なかなか答えるのに苦慮するのではないだろうか。山国である我が国には全国各地に「山」があり、その整備の程度は様々であるし、どの程度整備がなされた山を歩きたいか? という趣向も、個々人の経験や体力によって左右されるものであるからだ。良く整備された山域もあれば踏み跡程度の山域もある。同じ目的地であっても、コースの取

り方次第で、良く整備された道か、踏み跡程度の道かに分かれる。その中から、自らの体力や技術に見合ったコースを選んで歩くのも登山の楽しみの一つである。

しかしながら、多様な人が山に入るようになった昨今、初心者が上級者向けのバリエーション・ルートに迷い込んでしまうトラブルがあったり、登山道沿いに設置されている鎖場や手摺りなどの整備の不備で事故が発生して、責任の所在が裁判で争われるといった現実も一方である。そこで分かることは、日本では、「登山道」に関する全国で統一されたルールがないということや、本来は山仕事などのために使われるはずの林道や作業道が登山目的に流用されていて、(もちろん登山には「自己責任」が伴うのは当然のことではあるが……)責任の所在がはつきりしない面も一方であるということだ。

このような日本の「登山道」の困った現状と、その解決策を様々な角度から考察した資料の集大成が本書である。本書は、我が国ではいまだ実現していない「登山道法」という法律を制定できないか? という可能性を最終目標として掲

げ(最終章である第7章のテーマ)、日本の「登山道」が抱える現状を各筆者の多角的な角度から捉えている。

全体的な構成としては、登山道の現状と課題について第1章で触れたのち、第2章で「各地の登山道の現状」ということで、北海道から九州にかけて全国各地の登山道の管理状況がレポートされている。この章にかなりのページ数が割かれている。場所によって執筆者が異なるため、共通のフォーマットで書かれていないのが、やや残念ではあるが、印象的なのは、「日本百名山」などに選ばれて、全国的に知名度が高くなった山ほど、登山道についての問題が多く(たとえば富士山、黒斑山、八甲田山など)、逆に気軽に歩けるように整備された遊歩道的な道(たとえば東北のみちのく潮風トレイル、近畿の熊野古道、三浦半島の大山林道など)は整備状況が良好で、登山道整備のヒントになり得るということだ。

第3章では、登山道と遭難対策というところで、登山道を利用して「登山者の現状」や大雪山で導入されている登山道の整備水準

(大雪山グレード)の紹介、遭難対策から見た「良い登山道」の考察などに触れている。第4章では、登山道の整備不良に起因する事故に関する裁判事例について紹介されている。取り上げられている裁判事例で最も古いものは、昭和43年10月30日に吉野熊野国立公園で発生した鬼ヶ城(転落)事件であり、近代のみならず過去の事例にも触れられている。また、諸外国における「登山道」や「自然歩道」関連の法制度について、スイス、米国、英国、ニュージーランドの事例が紹介されている。時代と国境を超えた視点で考察されている章である。第5章では、登山道利用の多様化と、課題について触れられている。写真付きで紹介されている登山道の実態は、様々な整備のあり方、メリット、デメリットを学ぶことができるページである。第6章では、登山道の歴史と今後の活用について、最終章の第7章では、具体的に「登山道法」の法制化に向けての課題について言及されている。本書が、普段、何気なく利用している「登山道」を見直してみる良い契機となることが期待される。

(床田真理)

図書受入報告(2022年6月)

著者	書名	頁/サイズ	発行者	発行年	寄贈/購入別
堀義博(編)	美濃の三角点 全点踏査の記録(I)20万図 飯田・豊橋	230p/26cm	大垣山岳協会	2021	発行者寄贈
堀義博(編)	美濃の三角点 全点踏査の記録(II)20万図 金沢・岐阜・名古屋	318p/26cm	大垣山岳協会	2022	発行者寄贈
遠藤進	高尾山の花を写そう!	38p/19cm	揺籃社	2022	出版社寄贈
遠藤進・佐藤美知男	高尾山の花名さがし(増補改訂版)	70p/19cm	揺籃社	2017	出版社寄贈
遠藤進	高尾山おもしろ百科 :ポケット話題満載 108話	64p/19cm	揺籃社	2012	出版社寄贈
横山厚夫・木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会	木暮理太郎年譜(未定稿):附・木暮理太郎参考文献	26p/21cm	木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会	2022	発行者寄贈
大阪外国語大学ワンダーフォーゲル部OB会(編)	「Viator」創部50周年記念特別号	258p/30cm	大阪外国語大学ワンダーフォーゲル部OB会	2009	城島紀夫氏寄贈
甲山信一	ハイキング・登山の危険予知	155p/19cm	文芸社	2022	著者寄贈
菊地敏之(編著)	日本の岩場(改訂) クライミング・ガイド・ブックス上巻	160p/21cm	白山書房	2018	出版社寄贈
菊地敏之(編著)	日本の岩場(改訂) クライミング・ガイド・ブックス下巻	160p/21cm	白山書房	2022	出版社寄贈
Ok, M. Saito, M. (tr.)	Indian Himalaya :An Illustrated Guide for Mountaineers	427p/26cm	Fubaisha	2022	著者寄贈

■日本山岳会東海支部設立60周年
記念出版

インド・ヒマラヤ(英語版)
『Indian Himalaya, An Illustrated Guide for Mountaineers』

英語版では、インド・ヒマラヤの長大な山脈を13の山域に大別し、約800座を選び、位置と山容の

説明と特徴に加えて、世界各国から挑んだ登山の歴史を概説した。文献もできる限り示した。登山者のために役立つ概念図を38図挿入した。山の写真もできる限り多く挿入する努力をした。編集者にはインド・ヒマラヤに精通した日本人だけでなく、世界的に著名なインド人も加えて万全を期した。また、「インド・ヒマラヤ登山年

創立120周年記念事業募金のお願い

当会は、2025(令和7)年に創立120周年を迎えます。現在、120周年に向けて様々なプロジェクトが進行中です。

その中で、コロナの感染状況を鑑みて、中断していたグレート・ヒマラヤ・トラバースおよびヒマラヤキャンプが再始動に向けて準備を進めており、秋には遠征を予定しています。しかしながら、昨今の世界経済の変動による急激な円安や物価の高騰による経費の増大に苦闘しております。

2つのプロジェクトを送り出すために、また、すべてのプロジェクトを円滑に推進するために、会員の皆さまにもご支援いただかせませんか。

各プロジェクトの概要につきましては、HPをご覧くださいければ幸いです。会報「山」8月号には、「募金のお願いと振込取扱票」を同封させていただきます。

多くの会員の皆さまのお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

創立120周年記念事業委員会

Indian Himalaya An Illustrated Guide for Mountaineers



Tokai Section of The Japanese Alpine Club
Supervisors: Haruhiko KAWADA, Kenjiro KAWADA and
Shinjiro KAWADA (HKK773734073)

Chief Editor: Shunichi KATO
Translator: Mutsa KATO
Publisher: Tokai Shuppan

表」と「インド・ヒマラヤ山名表」は出版費用がかさむのを苦慮して、概要と見本頁のみを載せることにした。その全文は、日本山岳会東海支部のホームページに「インド・ヒマラヤ資料」として載せてあるので下記をクリックして開き、活

用していただきたい。
公益社団法人 日本山岳会東海支部—Tokai Section of Japan Alpine Club (sakura.ne.jp)
B5判/427ページ・ソフトカバー
/100部限定出版/特価¥5000円

申込みは日本山岳会東海支部事務局〒460-0014・名古屋市中区富士見町8番8号・OMCビルB1、または、
E-mail: okimasato1935@yahoo.co.jp / khoshi@katch.ne.jp にお願います。

会

務

報

告

令和4年度第3回(6月度)理事会
議事録

日時 令和4年6月15(水) 19時00分

場所 集会所およびオンライン
(Zoom)

【出席者】古野会長、坂井・山本・

橋本副会長、柏・南久松・萩原各常務理事、松原・松田・清水・飯田・久保田・川瀬・長島各理事、黒川・佐野各監事

【欠席者】平川理事

【オブザーバー】節田会報編集人

【審議事項】

1・創立120周年記念事業募金実施追加許可ついて(飯田)(賛成14、反対0)

2・「山の日講演会」(千葉)募金活動の承認願について(松田)(賛成14、反対0)

【協議事項】

1・山行委員会の委員の増強対策について協議した。(長島)

【報告事項】

1・正会員19名、準会員14名の入会を承認した旨、報告があった。

(古野)

2・寄附金14件、180万円の受け入れ報告があった。(栢)

3・花王ヘルシアからの寄附の分配について報告があった。(飯田)

4・内閣府立ち入り検査(6月9日実施)について報告があった。

(栢)

5・評議員懇談会開催(6月6日)の報告があった。(栢)

6・事務局職員の勤怠管理の手法について報告があった(栢)

7・令和3年度海外登山助成結果の報告があった。(坂井)

8・令和4年度海外登山助成金前期募集開始の報告があった。(坂井)

9・安曇野山岳美術館「辻まことの世界」展の後援について報告があった。(栢)

10・YOUTH CLUB学生部の海外登山勉強会が実施されたという報告があった。(松原)

11・会員名簿の目的外使用(出版物の郵送への利用)発生の報告があった。(栢)

12・「山」6月号の発行に関する報告があった。(節田)

ルーム日誌
6月

1日 総務委員会 資料映像委員

会 山行委員会 山岳古道

PT

2日 デジタルメディア委員会山

岳地理クラブ YOUTH

H CLUB

3日 「山の日」事業委員会 アル

ピニズムクラブ

6日 記念事業委員会

スケッチクラブ

8日 休山会 山想倶楽部

10日 図書委員会

14日 フォトクラブ

15日 理事会 つくも会

16日 記念事業委員会

17日 記念事業委員会

20日 会報編集委員会 フォトク

ラブ

21日 沢登り同好会Ⅱ

22日 家族登山普及委員会 麗山

会

23日 山遊会 バックカントリー

クラブ

24日 自然保護委員会

27日 資料映像委員会 青年部

緑爽会

28日 00会 平日クラブ

6月来室者 210名

会員異動

物故

寺阪元雄(4933) 22・3・7

岡部紀正(6003) 22・5・3

山口能子(10369) 22・5・20頃

坂本雄二(13290) 22・5・30

退会

原田至康 (5461)

木村泰助 (6517)

武田武人 (11105) 信濃

片野スミ子(13346)

高木百合子(13445) 北海道

中島洋祐 (14963) 東九州

齊藤弘毅 (15586) 熊本

梶山由貴恵(15731) 広島

川崎貴弘 (15772) 広島

稲垣邦康 (15945)

木全紀之 (15946) 東海

渡部絹代 (16377) 東海

安井 達 (16423) 東海

窪田小百合(16486) 岐阜

服部由紀 (16492) 東海

佐々木美代子(16525) 岐阜

高山 昭 (16641)

沖 陽輔 (16696)

櫻井美奈子(A0227) 東京多摩

皆山京子 (A0379)

飯野和子 (A0427) 埼玉

INFORMATION

山の日

◆岐阜支部創立50周年 記念式典のご案内

岐阜支部

このたび、岐阜支部は創立50周年を迎えます。つきましては50周年を記念して、左記のとおり式典と祝賀会を開催いたします。また、翌日は記念山行として猪臥山に登ります。猪臥山は標高が1519m、二等三角点があり、天気が良ければ山頂からは白山や北アルプスが見渡せます。ご多用中まことに恐縮に存じますが、なにとぞ、万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時 10月23日(日)～24日(月)

場所 ひだホテルプラザ 岐阜県高山市花岡町2丁目60番地

TEL 0577-334600

日程 23日 12時30分～受付開始

13時・記念式典 14時・山岳講演会(山と溪谷社・萩原浩司氏) 18時・祝賀会

24日 18時・ロビー集合

8時30分・記念山行(猪臥山*行動食は各自でご用意ください) 14時・解散

会費 2万円

記念式典・祝賀会・記念山行に関する問合せおよび申込み先

山 926-2022・7・20

◆南八ヶ岳縦走

山行委員会

コロナ禍で、2年続けて中止となった山行です。今年は9月に計画しました。彩り豊かな自然の中で、爽快な岩稜歩きを楽しみませんか？

日程 9月23日(金)～9月25日(日)

集合 23日 茅野駅9時15分

行程 茅野駅⇨桜平⇨硫黄岳⇨硫黄岳山荘(泊) 硫黄岳山荘⇨横岳⇨赤岳⇨権現岳⇨青年小屋(泊) 青年小屋⇨編笠山⇨観音平⇨小淵沢駅

解散 25日 小淵沢駅 12時ごろ

参加費 2万9000円(山小屋代2泊・タクシー代・保険料ほか)

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

募集人数 12人 申込みは8月20日までに中原三佐代へ TEL 090-2652-2450

✉ sanko@jac.or.jp

記載事項 ①会員番号・住所・氏名・生年月日・性別・緊急連絡先(続柄) 電話番号・携帯電話番号

*申込み者に詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。

*申込みに詳細案内をお送りします。新型コロナウィルスの影響により、変更または中止の場合があります。



◆編集後記◆

●6月末は「みちのく潮風トレイル」の最北部を歩いてきました。「海のアムス」北山崎や種差海岸の歩き旅を楽しんだわけですが、一番の目的は、新潮選書「風景との対話」(1967年)を読んで以来気になっていた、東山魁夷の出世作となった名画「道」が描かれた現場を訪ねることでした。

●残念ながらその「道」は舗装されており、行く手彼方の丘には松が植林されていましたが、やっと念願を果たすことができました。「絶望と希望とが織り交じった道、遍歴の果てでもあり、新しく始まる道でもあった。」と画家は綴っています。我々登山者にとっても道は大切な存在。記念碑のそばに立つて眺めていると、感慨深いものがありました。(節田重彰)

日本山岳会報 山 926号

2022年(令和4年)7月20日発行
発行所 公益社団法人日本山岳会
〒102-0081
東京都千代田区四番町5-4
サンビューハイッツ四番町
TEL 東京(03)3261-4433
FAX 東京(03)3261-4441
発行者 日本山岳会会長 古野 淳
編集人 節田重彰
Eメール: jac-kaiho@jac.or.jp
印刷 株式会社 双陽社